

科目番号	53028	分類	特別研究	履修者	看護科学コース	学年	
科目名	特別研究 (Special Thesis)					1・2	
						配当セスター	
						通年	
担当者	○草間朋子・今井秀樹・酒井一夫・中島美津子・ 竹内朋子・橋本美幸・朝澤恭子・田中留伊・ 高木晴良	区分	必修	単位	10	時間数	300
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連		
【概要および目標】看護学はサイエンスとしての看護と心の問題としての看護をシンクロナイズした学問である。特別研究ではサイエンスに着目して探求していく。自然科学は人間を超越した普遍的な真理を探究する学問である。また自然科学の研究では測定や実験などその方法に間違いがなければ誰が行っても、また何度行っても得られる結果は同じになる。これら自然科学の原則を理解し、自らの看護科学研究にその概念・手法を自在に生かせる能力を養う。また研究途中における発表と研究成果をもとにした修士論文執筆を通じて、ひとまとまりの研究を完遂できる能力をも身につける。					○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力	
					○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力	
					○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力	
					○	4. 看護管理者として、臨床現場においてリーダーシップをとりながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力	
						5. 実践を行いながら学部学生の臨床実習を指導できる能力	
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
第1～10回	研究課題の選択 関連領域に関する文献検討・研究課題の明確化						指導教員と 関連領域の 教員
第11～20回	研究計画書の立案 研究方法の検討						
第21回	研究計画書発表						
第22回	(必要に応じて) 倫理審査						
第23～100回	調査あるいは実験と得られたデータの解析						
第101～110回	結果の考察						
第111～145回	論文執筆						
第146回	発表						
第147～150回	公表(学術集会での発表、学会誌等への投稿)の準備						
事前・事後 学習	事前学習：関心のある研究テーマを明示(言語化)できるように準備する。 事後学習：研究成果の公表にむけた作業をすすめる。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に取り組むこと。						
評価の方法	研究への取り組み方、研究指導者との討論、論文作成能力および発表内容等を総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。						
参考図書 ・資料等							
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						